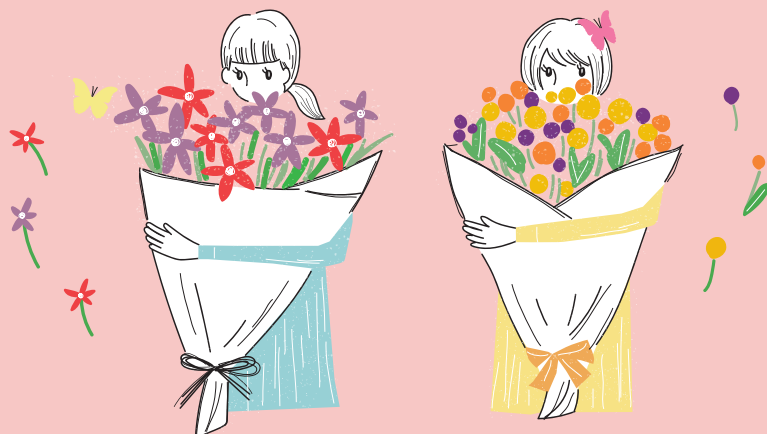


つながるスイッチ!!

久留米市社会福祉協議会



vol.8

支え合い推進会議

—その⑥—

「上津校区」の
取り組み

支え合い推進会議の取り組みを紹介していくシリーズ第6弾。今回は、「上津校区」をご紹介します。

上津校区まちづくり振興会

・会長 大坪 平さん

【支え合い推進会議 代表】

・事務局長 真谷 泰有さん

上津校区社会福祉協議会

・会長 平塚 文成さん

・事務局長 馬場 弘喜さん

久留米市社会福祉協議会は、住民の皆さんが安心して地域で暮らせるよう、久留米市と一緒により「くるめ支え合うプラン（令和2～7年度）」を策定しました。地域住民やボランティア等と協力しながら地域づくりを進めています。また、各校区でも、それぞれの地域でどのように福祉活動を進めていくのかを示す、校区福祉活動計画の策定に取り組んでいます。上津校区は、支え合い推進会議の場を活用して「第4次上津校区福祉活動計画（令和3～8年度）」を策定されました。

「第4次上津校区福祉活動計画」策定

策定当時の校区社協会長（現…事務局長）の馬場さんは、策定にあたり、①皆で話し合いながら作る②長引か

せず年度内に完成させる③できた計画は全世帯の人に知ってもらおうことを決めました。

校区社協常任理事会で中心に話し合い、支え合い推進会議で様々な立場の人から意見を聞きながら、作成を進めました。前計画を振り返るとともに、現状や課題を整理し、「支え合うところあふれるまち 上津」をめざした取り組みを計画に盛り込みました。例えば、「支え合う意識やつながりの希薄化」という課題に対しては、「見守り活動の推進」や「誰もが集える場の拡充」といった取り組みを掲げています。そして、令和3年3月に「第4次上津校区福祉活動計画」が完成しました。

町内会会長と健康福祉部会等のメンバーで構成された上津校区支え合い推進会議。会議では、各団体の活動を報告し合い、情報を共有しました。「それぞれ活動していますが、知らないことも多かった。共有すればもっと新たなことができるかもしれないと思いました」と大坪さんは話します。また、「校区の中の社会資源や困りごとなど、改めて見直すことができました」と平塚さん。

策定後は、校区に住む人たちに計画の内容や校区の活動を知ってもらいたいと、計画の概要・保存版を作成、全世帯に配布しました。これは、第4次上津校区福祉活動計画の内容をイラスト付きでわかりやすくまとめたものです。「概要・保存版は、捨てずにとっておいてほしいので、困った時に相談しやすいような相談窓口の連絡先も載せました」と馬場さん。配布

後、実際に相談窓口で問合せがあったそうです。「自分が住んでいる地域はこういう活動をしているんだと知ってもらうことで、安心感をもってほしい。全世帯に配布したことで、住民同士のつながりがより強くなったように感じています」と大坪さんは話します。この概要・保存版は、町内会長さんから「自信をもって配布できる!」と、絶賛されたそう。「皆で作ったことを誇りに思います」と、4人は目を見合わせながら笑顔で語られました。

計画を作っただけでなく、それを実践していくことが大事だと考える上津校区。その実践の一つとして、校区社協では、「誰もが集える場の拡充」のために、サロン未設置地区を対象とした「いきいきサロン研修」、「多機関連携の推進」のために、校区内の社会福祉法人等を招いた研修会を開催しました。また、支え合い推進会議では、年1回、計画に掲げる取り組みの振り返りを行っています。

概要・保存版



地域活動を通じて 感じていること



ワークショップ形式で支え合い推進会議を開催

● 平塚さん
今、子ども会の世話人がいないので、子ども会の活動自体が減ってきています。今は昔と違って共働きの家庭も多く、親御さんたちは忙しいですよ。今後、自治会で世話をしていくことはできないか、という意見も出ています。昔は子ども会を通して地域の輪が広がっていましたが、今は新しい交流の形を模索していかなくてはいけないと考えています。また、上津校区は、久留米市南部保健センターと久留米南地域包括支援センターという専門的な機関が校区内に2つもある珍しいエリアなので、スタッフの皆様と連携し、住民がいつまでも元気な校区を目指します。

● 大坪さん
地域活動の担い手を育成するために、人材の発掘が必要であると考えています。また、身近な困りごととたくさんあります。例えば、学校行事がある時に駐車場が足りないことや、学校周辺の通学路が狭いことなども課題です。他にも色々ありますが、住民の皆さんに、「上津はいいところ、住んでいてよかった」と言ってもらえるように、地道に1つずつ課題を解決していきたいと思っています。

● 馬場さん
立ち止まらず、活動を続けていくことが大事です。上津校区も集合住宅が増え、町内会に未加入の方も増えてきました。時代の流れとともに人と人との関わりが、だんだん希薄になってきています。昔から言われている「向こう3軒両隣」。人とのつながりを大事にするような地域を目指していきたいです。上津校区はグラウンドゴルフが盛んで、高齢者が元気です。今後、「いきいきサロン」など、高齢者の方々の交流の場となるような場所をもっと増やしたいです。

● 真谷さん
上津校区は、「何か面白いことをしている」「何か楽しそうだ」というように思ってもらえるよう、常に活動し、新しいことも積極的に取り入れていきたいです。子どももおとなも楽しめる、世代間の

交流ができるようなイベントの開催など行っていきたいですね。

取材を終えて

上津校区が大好きで、住んでいることに誇りをもっていることが伝わってきました。積極的で熱い想いをもっている皆さんがいる上津校区だからこそ、くるめ支え合うプランを基に、いち早く「校区福祉活動計画」の策定に取り組まれたのだと思います。さらに、計画を最大限に生かすために、住民同士のつながりづくりや、暮らしやすい地域づくりに励む姿が見えました。



平塚 文成さん 大坪 平さん 馬場 弘喜さん 真谷 泰有さん

皆さんにプライベートなことをお聞きすると、大坪さん、平塚さん、馬場さんの全員が野菜作りが趣味だと回答されました。大坪さんは野菜を10種ほど育て、馬場さんは畑を借りて野菜作りをするほど本格的です。また、真谷さんが多趣味であることが発覚！これには皆さん驚かされていました。料理(カレーをスパイス調合から行うほど)に、自転車、ウクレレやハーモニカなど音楽も好きだそうです。

- 支え合い推進会議の場を活用して、「第4次上津校区福祉活動計画(上津校区支え合うプラン)」を策定。
- 今までやってきた活動や社会資源の情報を持ち寄って共有することで、新たなことができる可能性がある。
- 完成した計画は、校区住民に知ってもらうことが大切。
- 計画は作ったら終わりではなく、それを実践し、定期的に振り返ることが必要。

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34
TEL: 0942-34-3035
FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net
HP: <http://www.heartful-volunteer.net>

久留米市社会福祉協議会 検索

webサイト

「note——つくる、つながる、とどける。」で「つながるスイッチ!!」を検索してください!

つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中

